
家族看護学

Family Nursing

1 年次後期・選択

2 単位 30 時間

泊 祐 子 非常勤講師

真 継 和 子 非常勤講師

【概要・目標】

日本社会の家族のありようの歴史の変遷と家族看護の発展過程を踏まえ、自らの家族の見方を再考し、ありのままの家族現象をとらえられる感性を磨く。本科目での学習目標の1つ目は、人々の健康保持増進や予防、健康問題を抱えた家族に対するアセスメントおよび家族関係調整の視点を理解し、家族看護介入技法を深め家族看護実践能力を涵養すること。2つ目に、家族看護現象のとらえ方に家族の概念・理論の適用を検討し、家族看護研究の視座を学ぶ。

【授業内容・スケジュール】

(担当)

1)	家族看護学の基本事項・概念、家族看護学の発展過程	家族のみかた	泊 祐子
2)～3)	家族の変貌：統計からみる社会の変貌が家族に与えた影響		泊 祐子
4)	家族構造・機能の変化	社会の家族への考え方の変化、ジェンダー家族	泊 祐子
5)	家族発達段階論と発達課題、家族ストレス理論		泊 祐子
6)～7)	家族システム論、カルガリー家族アセスメント介入モデル		泊 祐子
8)	記述した家族事例のアセスメントとアプローチの再検討		泊 祐子
	事前学習：これまでに会った家族の心に残っている事例のレポート		泊 祐子
9)～10)	家族エンパワメントモデル		真継 和子
11)～13)	ワーク：家族エンパワメントモデルを用いた家族看護の展開		真継 和子
14)～15)	ワーク：文献にみる家族概念・理論のとらえ方（プレゼンテーション）		泊 祐子
	事前学習：選択した文献を熟読しプレゼンテーションの準備		真継 和子

【評価】

レポート (40%)、プレゼンテーション (40%)、授業への貢献 (20%)

【テキスト】

適時提示する

【推薦参考図書】

- 1) 野嶋佐由美・中野綾美：家族エンパワメントをもたらす家族実践，へるす出版，2009.
- 2) 鈴木和子・渡辺裕子：家族看護学 理論と実践 第4版，日本看護協会出版会，2012.

【その他】

必要資料は事前に配布する。